

株式会社 学研ホールディングス 決算説明会

2015年11月25日

2015年9月期業績概要

株式会社学研ホールディングス
常務取締役 中森 知

2015年9月期 業績

(百万円)

増収・増益を達成

	‘14年9月期	‘15年9月期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	90,134	95,945	+5,811	+6.4%
営業利益	280	1,599	+1,319	+470.9%
営業利益率	0.3%	1.7%	+1.4%	-
当期純利益	31	265	+233	+748.4%

■ 売上高 増加要因

- ・「高齢者福祉・子育て支援事業」でのサービス付き高齢者住宅(サ高住)および保育施設の新規開業や西日本エリアのサ高住取得

■ 営業利益 増加要因

- ・「出版事業」での一部事業廃止による利益改善、(株)文理の連結子会社化
- ・「高齢者福祉・子育て支援事業」の黒字転換

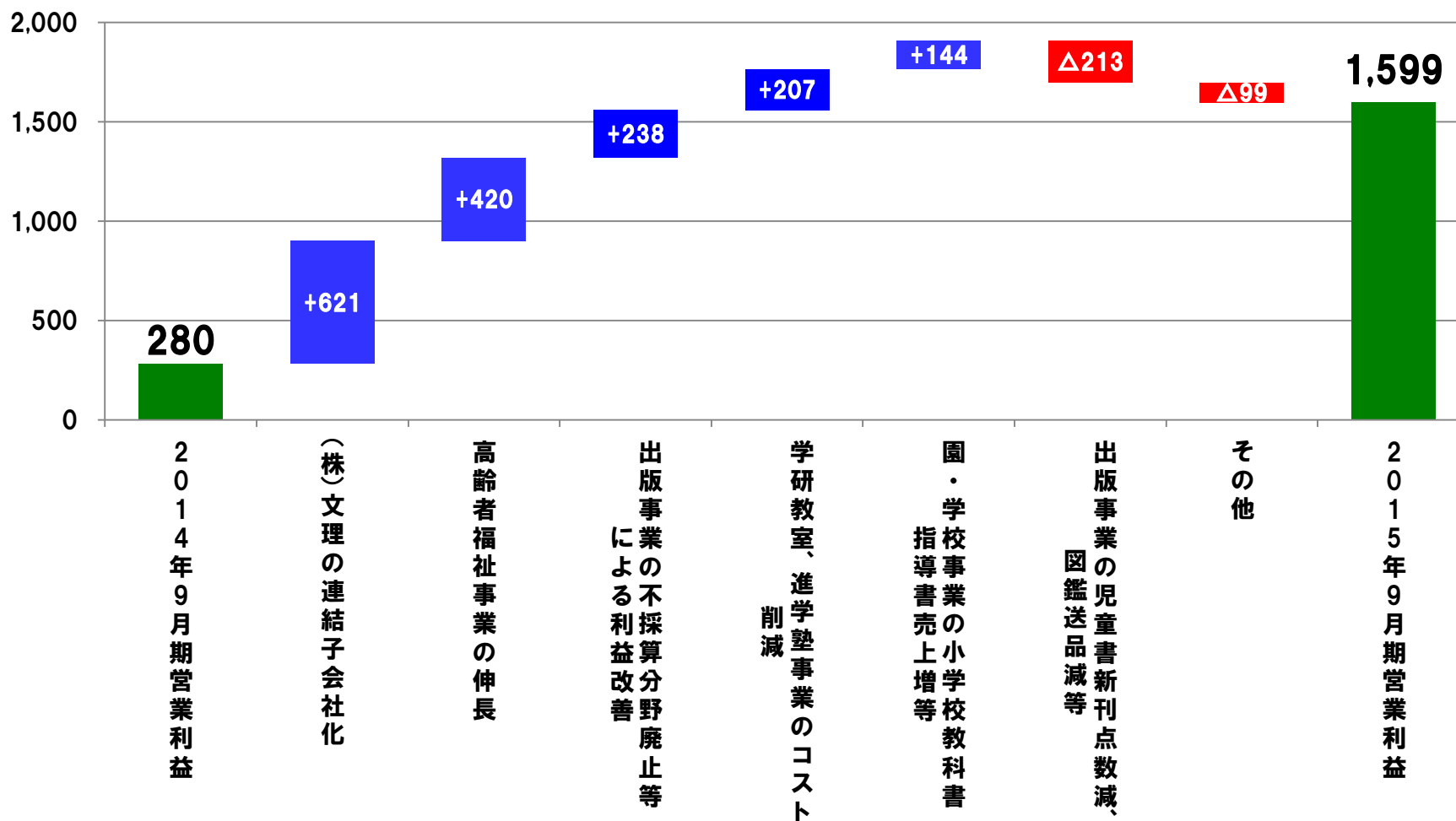
■ 当期純利益 増加要因

- ・営業利益の増加
- ・特別損失発生(2Q出版事業の一部廃止等)

2015年9月期 営業利益増減要因(前期比)

(百万円)

出版事業、高齢者福祉事業の利益改善効果大



連結貸借対照表

(百万円)

**(株)文理の連結子会社化により資産・負債増加
サ高住物件の取得により固定資産増加**

	'14/9月末	'15/9月末	増減
流動資産	46,648	48,642	+1,994
固定資産	27,851	30,560	+2,709
資産合計	74,499	79,203	+4,704
流動負債	21,129	23,772	+2,642
固定負債	20,463	20,734	+271
負債合計	41,592	44,506	+2,913
純資産	32,907	34,697	+1,790
負債・純資産合計	74,499	79,203	+4,704

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

税引前当期純利益の増加、棚卸資産圧縮で FCFは大幅改善

	'14年9月期	'15年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	262	3,271	+3,008
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,032	△1,774	+1,258
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	△2,770	1,497	+4,267
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,011	△569	△9,581
現金・現金同等物増減額	6,254	1,021	△5,233
現金・現金同等物期末残高	15,390	16,412	+1,021

2015年9月期 セグメント別業績

(百万円)

4セグメントとも増収・増益

セグメント名	項目	‘14年9月期	‘15年9月期	前期比 増減額	前期比 増減率	
教育ソリューション事業	売上高	72,103	73,228	+1,124	+1.6%	
	営業利益	346	1,396	+1,049	+302.7%	
	教室・塾事業	売上高	27,345	27,392	+47	+0.2%
		営業利益	1,282	1,490	+207	+16.2%
	出版事業	売上高	29,077	29,693	+616	+2.1%
		営業利益	△ 1,212	△ 515	+697	—
	園・学校事業	売上高	15,680	16,141	+461	+2.9%
		営業利益	276	421	+144	+52.3%
	高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	10,504	14,574	+4,069	+38.7%
		営業利益	△ 319	101	+420	—
その他	売上高	7,525	8,142	+616	+8.2%	
	営業利益	209	78	△130	△62.4%	

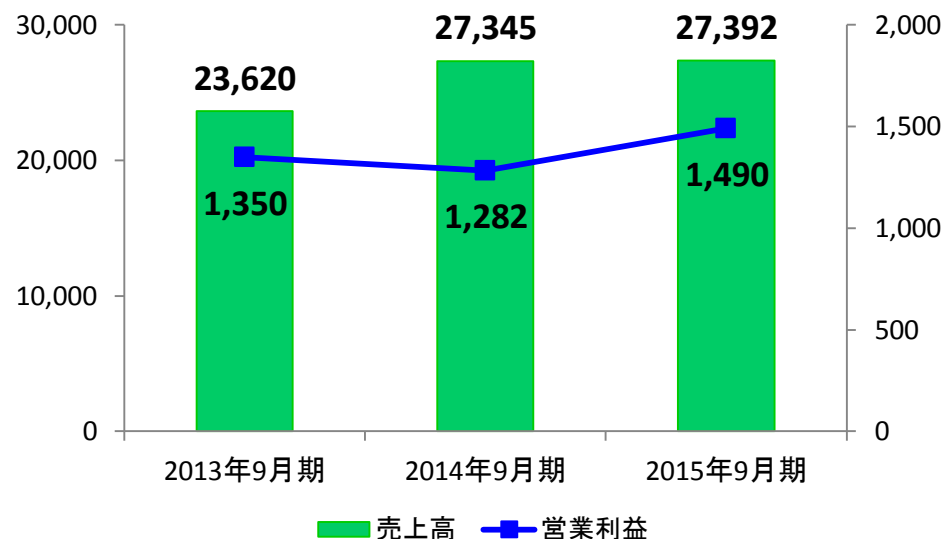
セグメント別業績 ①教室・塾事業

(百万円)

過去最高益を達成

●事業概要

- ・幼児から中学生(主に小学生)を対象とした学研教室の運営
- ・幼児から高校生を対象とした進学塾の運営



●2015年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

1. 学研教室事業

- ・タブレットを活用した学習サービス
- ・幼児・小学校低学年を中心に学習コース増設

2. 進学塾事業

- ・個別指導生徒数増加
- ・顧客単価の上昇

〔営業利益〕

- ・生徒募集費、販売促進費の効率化
- ・売上増による利益増
- ・販売コストの圧縮

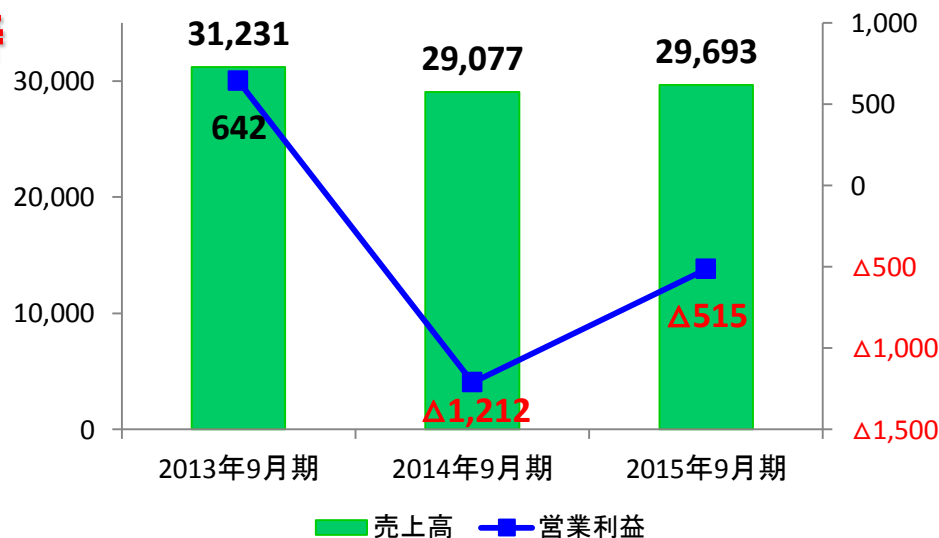
セグメント別業績 ②出版事業

(百万円)

事業分野の絞込みにより下期損益改善

●事業概要

- ・取次・書店ルートにおける児童書、学習参考書、大人の学び等出版物、看護書、医学書の発行・販売
- ・出版と連動したデジタルコンテンツの開発・販売等



●2015年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

1. 出版事業

＜不採算分野＞

- ・歴史、女性実用関係等廃止に伴う売上減少

＜主力事業-児童書・学習参考書＞

- ・児童書・・・ヒット不作、図鑑販売減
- ・学習参考書・・・小学生向け教材好調
- ・文理の連結子会社化(教科書準拠版シェアトップ)

2. 電子出版事業

- ・電子雑誌定額制サービスへのコンテンツ提供

〔営業利益〕

- ・事業廃止に伴い下期改善
- ・児童書の売上減、在庫処分増
- ・文理の利益加算

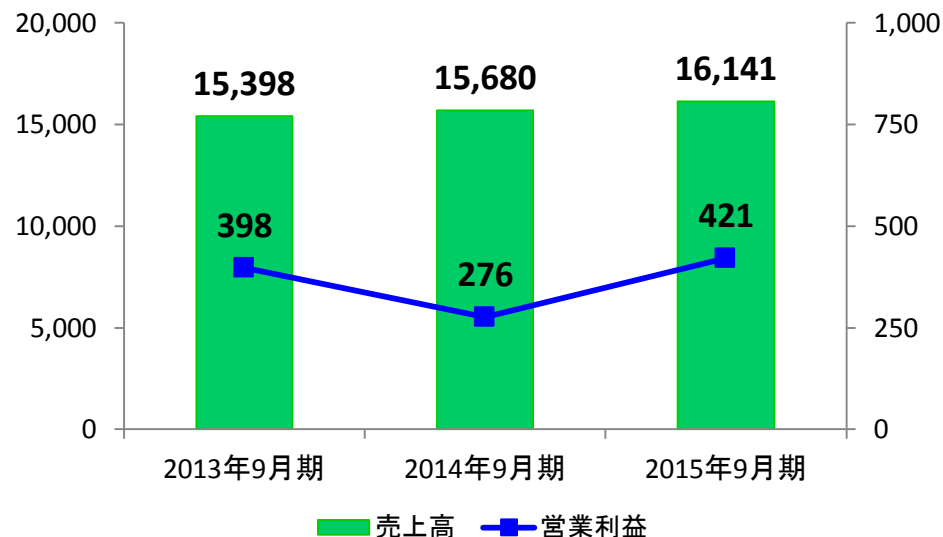
セグメント別業績 ③園・学校事業

(百万円)

小学校保健教科書採択シェア1位

●事業概要

- ・幼稚園・保育園向け事業: 出版物や保育用品、備品、園服等の制作・販売。幼児児童向け教室事業。
- ・小・中学校向け事業: 教科書、教科書指導書、副読本、特別支援教材や体力テスト等の制作・販売



●2015年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

1. 幼稚園・保育園向け事業

- ・新学期用品の販売減少
- ・年中児向け課外教室の会員増

2. 小・中学校向け事業

- ・小学校保健教科書指導書の採択増

〔営業利益〕

- ・園児用月刊絵本の原価削減
- ・課外教室売上の増加
- ・左記指導書の売上増

セグメント別業績 ④ 高齢者福祉・子育て支援事業

(百万円)

増収により黒字転換

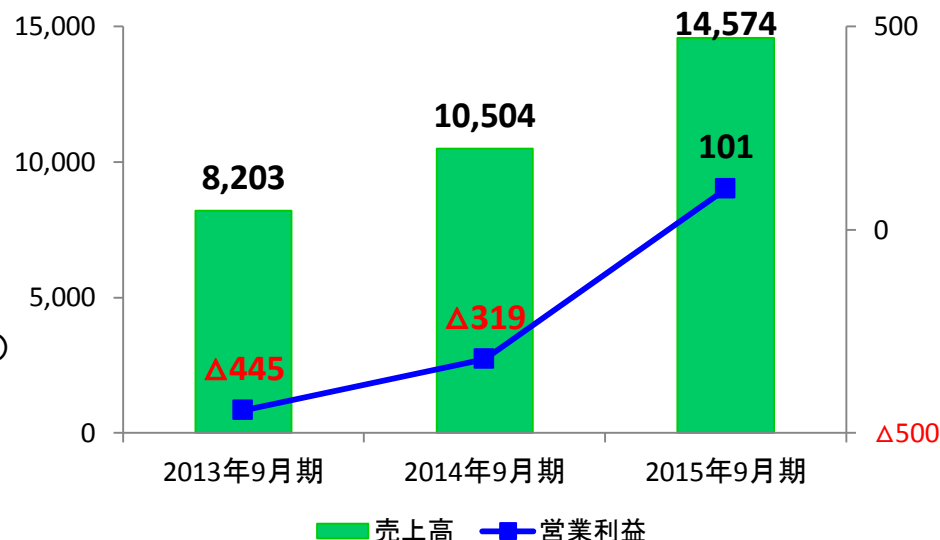
●事業概要

- ・高齢者向け在宅介護サービス拠点など、各種サービスの企画・開発・運営
- ・保育園・こども園などの子育て支援事業の企画・開発・運営

ココファン日吉(横浜市)



ココファン・ナーサリー桃井(杉並区)



●2015年9月期 前期比増減要因

〔売上高〕

1. 高齢者福祉事業

＜ココファン首都圏＞

- ・入居率向上、サ高住の新規5事業所開設

＜ココファン大阪・岡山＞

- ・大阪5物件、岡山2物件の事業所承継

2. 子育て支援事業

- ・首都圏の新規10園開園

〔営業利益〕

- ・事業所運営の効率化

- ・事業所運営コスト増加

- ・新規開園による増収、採用コスト増加

2ヵ年計画「Gakken2016」進捗状況 および2016年9月期業績見通し

**株式会社学研ホールディングス
代表取締役社長 宮原 博昭**

2015年9月期 業績計画比増減要因(セグメント別) (百万円)

売上高、営業利益ともに計画達成

セグメント名		項目	2ヵ年計画 「Gakken2016」	‘15年9月期	計画比 増減額	主な要因	
教育ソリューション事業		売上高	70,500	73,228	+2,728	－	
		営業利益	1,100	1,396	+296	－	
	教室・塾事業	売上高	27,500	27,392	△108	学研教室 会員数の未達	
		営業利益	1,250	1,490	+240	学研教室 生徒募集費の効率化	
	出版事業	売上高	27,000	29,693	+2,693	(株)文理 2Qよりグループ化	
		営業利益	△ 550	△ 515	+35	(株)文理 2Qよりグループ化 既存事業の低迷	
	園・学校事業	売上高	16,000	16,141	+141	小学校保健教科書の採択増	
		営業利益	400	421	+21	計画通り	
	高齢者福祉・ 子育て支援事業		売上高	14,500	14,574	+74	計画通り
			営業利益	300	101	△199	高齢者事業の西日本物件譲受コスト増
その他		売上高	8,000	8,142	+142	－	
		営業利益	100	78	△22	－	
調整額		売上高	－	－	－	－	
		営業利益	－	22	+22	－	
合計		売上高	93,000	95,945	+2,945	－	
		営業利益	1,500	1,599	+99	－	

2ヵ年計画「Gakken2016」進捗状況

出版事業の 選択と集中

- 不採算事業の廃止により、2015.9月期下期より損益改善
- 主力事業(児童書・学習参考書)強化の一環として(株)文理を買収
- 出版グループ3社を統合し、製販一体組織へ再編成

新しい教育 サービスの 開発

- ICT教材の学校向け、教室・塾向けサービスの営業体制を強化
家庭学習向けICT教材の開発に着手
- デジタル出版のコンテンツ点数・販売チャネル増
電子書店プラットフォーム事業等の新規事業も本格展開
- シンガポール事務所の現法化。アジア展開に向けた基盤整備

高齢者福祉・ 子育て支援 事業の展開

- 事業承継により、西日本エリアのサ高住展開を加速
- ココファン首都圏の入居率向上、運営効率化により損益改善
- 保育士・介護士等の人材確保に課題

2016年9月期 業績見通し

(百万円)

前期比 増収・増益の見通し

	‘15年9月期	‘16年9月期		前期比 増減額	前期比 増減率
		2ヵ年計画 「Gakken2016」	見通し		
売上高	95,945	96,000	97,000	+1,055	+1.1%
営業利益	1,599	2,600	2,600	+1,001	+62.6%
営業利益率	1.7%	2.7%	2.7%	+1.0%	—
当期純利益	265	—	1,300	+1,035	+390.6%

2016年9月期 セグメント別業績見通し

(百万円)

出版事業の黒字化

高齢者福祉・子育て支援事業の増収・増益

セグメント名	項目	‘15年9月期	‘16年9月期 業績見通し	前期比 増減額
教育ソリューション事業	売上高	73,228	72,000	△1,228
	営業利益	1,396	2,150	+754
	教室・塾事業	売上高	27,392	+108
		営業利益	1,490	+10
	出版事業	売上高	28,000	△1,693
		営業利益	200	+715
	園・学校事業	売上高	16,500	+359
		営業利益	450	+29
高齢者福祉・ 子育て支援事業	売上高	14,574	17,000	+2,426
	営業利益	101	400	+299
その他(調整額含)	売上高	8,142	8,000	△142
	営業利益	100	50	△50
合計	売上高	95,945	97,000	+1,055
	営業利益	1,599	2,600	+1,001

セグメント別業績見通し ①教室・塾事業

外部環境

少子化や価格競争の激化

■方針①

教務力の強化(指導力・教材・講座設計)

■方針②

新教室開設とエリア戦略の推進

セグメント別業績見通し ①教室・塾事業

(百万円)

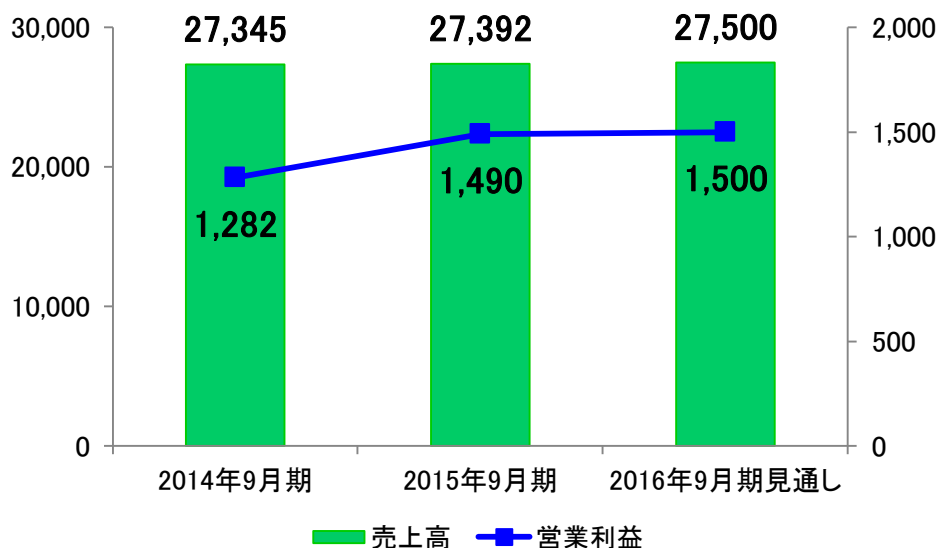
2016年9月期 取組み施策

■ 学研教室事業

- 教務力のアップ(ICT・新英語教材の導入や研修強化)、教育セミナー等により会員数回復
- 法人FC契約の積極的推進による組織の拡充

■ 進学塾事業

- 小学生の入塾推進強化
(能力開発系講座や英語コースの新設)
- 集団指導の単価アップや個別指導教室の整備増強



セグメント別業績見通し ②出版事業

外部環境

書籍、雑誌などの紙媒体市場が縮小

電子出版市場拡大

■方針①

教育分野に経営資源集中

■方針②

出版から派生した新事業の創出(出版PLUS事業)

■方針③

電子出版の拡大・黒字化

セグメント別業績見通し ②出版事業

(百万円)

2016年9月期 取組み施策

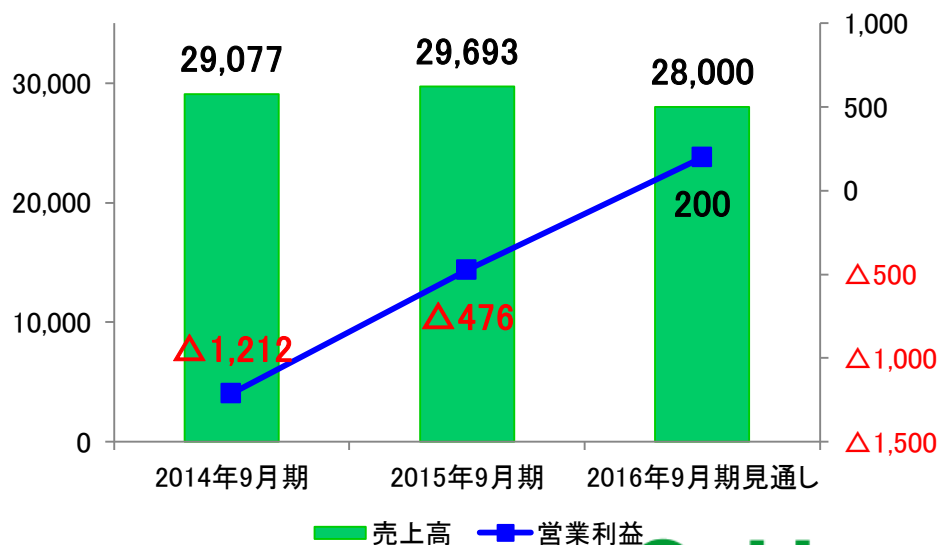
■ 出版事業

<幼児・児童>

- 絵本・教育書 ヒット作創出、販売チャネルの拡大
- 図鑑・百科 図鑑LIVEシリーズ拡売
- 児童・ファミリー 海外翻訳もの新シリーズ創刊

<小中学生>

- 小中学参 デジタル対応教材の拡充
- 辞典 改訂版と新刊発行による商品力強化
- 文理 中学準拠商品の改訂



セグメント別業績見通し ②出版事業

2016年9月期 取組み施策

■ 出版PLUS事業

- 自治体・企業向け受託事業(販促ツールの製作)の営業体制強化
- 編集部開発商品の通販、アニメ物販の強化

■ 電子出版事業

- 他社の電子書籍ストアとの連携強化と新規販売チャネルの拡大
- 雑誌・一般書籍に続き、児童書・学習参考書等の電子化促進

セグメント別業績見通し ③園・学校事業

外部環境

共働き世帯増加に対応した
「待機児童解消加速化プラン」

■方針①

幼稚園・保育園・こども園の多様化するニーズに対応した
商品・サービスを提供

■方針②

小・中学校の道徳教科書の発行準備

セグメント別業績見通し ③園・学校事業

(百万円)

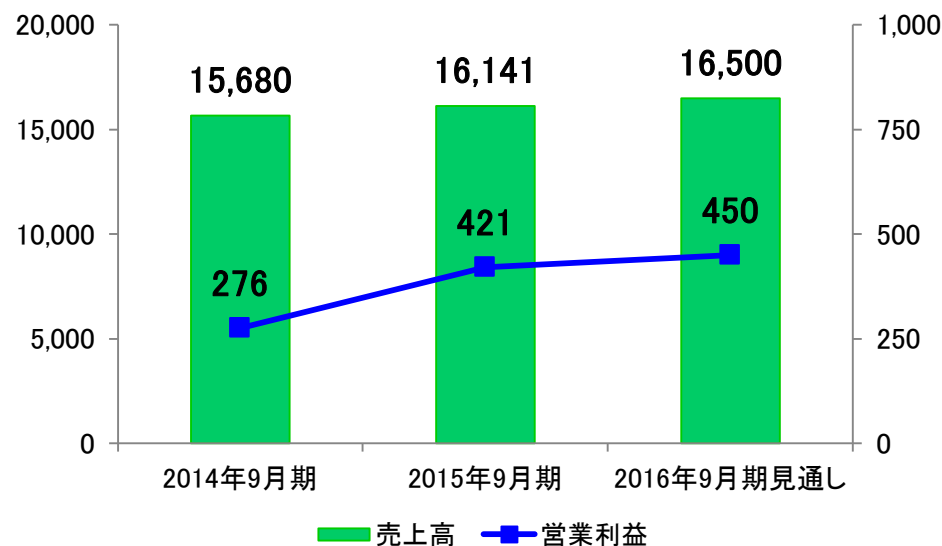
2016年9月期 取組み施策

■ 幼児園・保育園向け事業

- 園児・教師向け月刊誌の魅力的な誌面創りと販売促進の強化
- 幼児用ICT教材の拡販
- 幼児教室の多様化(スポーツチャンバラ、音楽教室等)

■ 小・中学校向け事業

- 中学校保健体育教科書・教科書指導書の売上増加
- 道徳教科書発行に向けた新しい事業部体制



外部環境

市場拡大と行政支援の拡充
サービス・価格面の競争激化

■方針①

エリア拡大により、安定的な利益確保と成長の実現

■方針②

優秀な人材確保と品質管理の徹底
安定的な施設運営による顧客満足度向上

セグメント別業績見通し ④高齢者福祉・子育て支援事業 (百万円)

2016年9月期 取組み施策

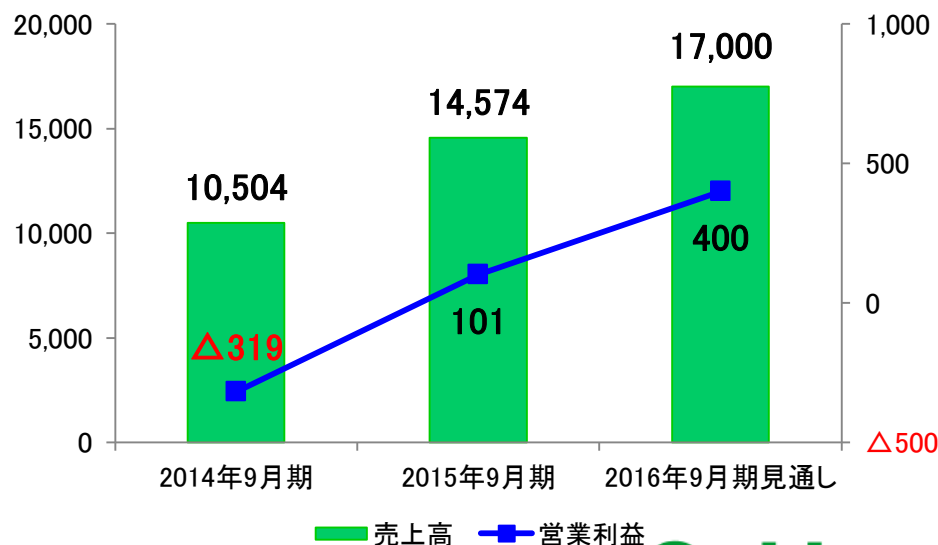
■ 高齢者福祉事業

- 既存施設の入居率向上
- 新規9事業所開設に向けた計画管理および人材確保
- 訪問看護事業への参入

(2015年10月学研ココファン・ナーシング設立／2016年2月
横浜鶴見第1号拠点)

■ 子育て支援事業

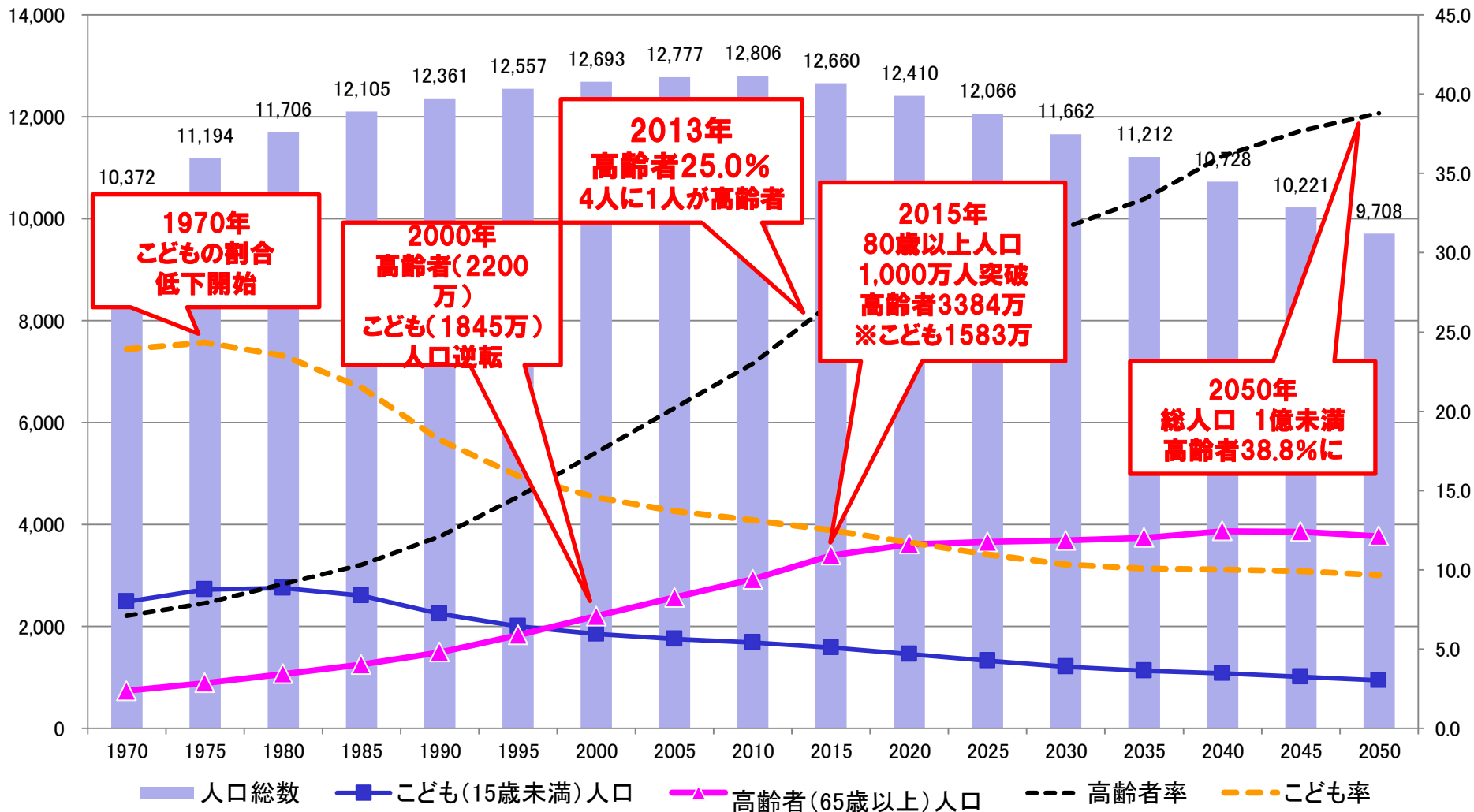
- 保育プログラムの品質向上
- 学童事業の本格的展開



教育・福祉市場の環境変化

(万人) ■国内総人口と高齢者／15歳未満人口推移

(%)



教育コンテンツ & サービスの創造企業へ

21世紀型スキル
アクティブラーニング
反転学習
STEM教育
プログラミング教育

グローバルリーダー育成
新学習指導要領
小学校英語
道徳教育

教室・塾

家庭

園・学校



大学入試制度改革
高大接続 幼小連携

教育ICT
教育格差是正

Gakken

福祉コンテンツ & サービスの創造企業へ

ユニバーサルデザイン
ダイバーシティ
ICT活用
自立支援
認知症予防

地域包括ケア

医療連携

アクティブシニア

世代間連帯

家庭



施設



行政・地域



介護報酬改定
人財確保

少子高齢化
待機児童

Gakken

グループ理念

私たち学研グループは
すべての人が心ゆたかに生きることを願い
今日の感動・満足・安心と
明日への夢・希望を
提供します